

天文ハイキング [I]

北斗信仰

東京都稲城市百村の妙見寺

北辰を祭る妙見信仰は各地にみられるが、ここは東京天文台から南へ約3km 稲城市百村の神王山妙見寺、日本三大妙見の一つといわれ特に幕末から明治にわたり三多摩、神奈川等の信者をあつめ大へんな賑いであった。

縁起によれば、天平宝字4年新羅の軍艦が九州に進攻したとき開山道忠禪師は勅命を奉じこの地を相して伏敵の祈願を七日七夜星供の法を修し満願の夜に妙見菩薩が青竜ののって現われたとある。その伝承を裏づける如く毎年夏には全村の青年がこぞって青茅を苜り干しし、それにて長い長い竜を作り山門から山上の神社(神仏混交)に至るまで這わせる風習が今でも残っている。12月の冬至の日には星供の大護摩が焚かれ近在の人々の信仰をあつめ往時は講も盛大で毎年正月には年廻りの星占いの暦も配られる。境内には星見の井戸、二十三夜塔はじめ磁石の動かない場所などと七不思議があり興はつきない。



山上には星供養百年祭の立派な供養碑が建っており、私事に及ぶが筆者はこの碑に吾が祖父世話人箕輪浅衛門の文字を見出したときの驚きを忘れる事が出来ない。この寺は狩野川台風により大被害を受けたがその後往時の賑さほどではないが建物行事共着々として復活しつつある。是非天文愛好家の一見をおすすめします。

交通 南武線稲城長沼より徒歩20分。京王線稲城中央駅より1分

※天文ハイキング始め、川崎天文同好会では天文ハイキングと称してここ十年来毎年天文に関する遺跡を訪ねています。従ってここに紹介するものは主に東京近郊のものとなりますがこれを一つの契機として各地の知られざる天文遺跡探訪の芽が開かれればと思ひ不充分乍ら川天同人交代でペンを執ることにしました。乞御期待

(箕輪敏行)

☆ ☆ ☆

◇1月の天文暦◇

日時	記	事
2 11	地球	近日点通過
5 19	小寒	(太陽黄経 285°)
6 16	朔	
13 19	上弦	
15 13	月	最近
20 5	土星	留
20 13	大寒	(太陽黄経 300°)
20 17	望	
25 19	木星	留
28 5	月	最遠
28 13	下弦	

